

# 新日鉄住金エンジニアリンググループのCSR

## CSRの考え方

「社会に貢献し続ける必須の存在」、これが新日鉄住金エンジニアリンググループの企業理念です。企業理念の具現化に向けて、持続可能な社会発展への使命を果たしていくことが、新日鉄住金エンジニアリンググループのビジネスであると同時に、社会的責任(CSR)でもあります。気候変動・エネルギー問題や、環境調和型社会の構築など、地球規模の課題を解決することと同時に、新しい技術や事業を生み出し、当社グループの成長に繋げていくことが、我々のCSRです。

## 企業理念、価値基準、CSR基本方針

当社グループは、企業理念に掲げる「社会に貢献し続ける必須の存在」を具現化するために、CSRの各分野に関する基本方針を制定・公開しています。社内外に有言実行の姿勢を示すことで、社員の意識を継続的に高め、ステークホルダーから信頼される会社、社員自身が誇れる会社を目指します。

### 企業理念

#### 「社会に貢献し続ける必須の存在」

- 複合的な事業領域から社会・産業・インフラを支えるリーディングカンパニー
- 企業社会の範となるイノベーション先進企業
- 全てのステークホルダーから確固たる信頼を得、構成員が気概と誇りを保持し続ける集団

### 価値基準(コアバリュー)

#### 【現場 挑戦】

ビジネスの現場から発想し、挑戦する心を重んじる

#### 【技術 革新】

技術の可能性を追求し、たゆまぬ革新を重んじる

#### 【人材 協働】

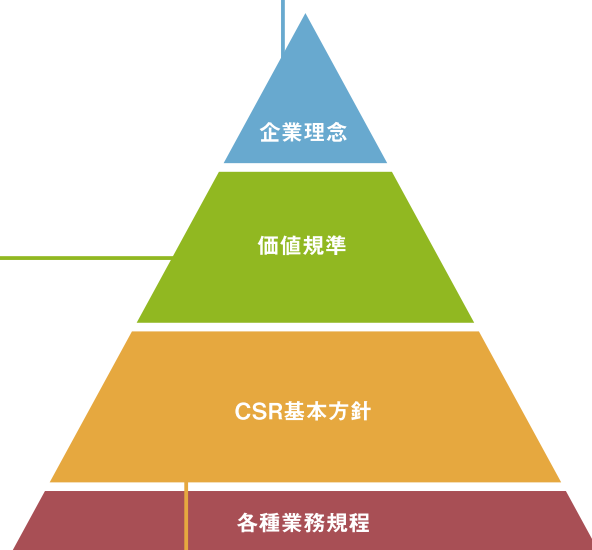
プロとして自らを高め、人を育て、チームの力を重んじる

#### 【公正 信頼】

ルールを守り、信頼を重んじる

### CSR基本方針

- 安全衛生基本方針
- 品質基本方針
- コンプライアンス基本方針
- 環境基本方針
- 調達基本方針
- 人財基本方針
- 社会貢献基本方針





写真掲載/北九州市同意済み



## CSRの重点テーマ

CSR基本方針を日常の事業活動のベースとしながら、社会への影響と事業への影響との両面から特に重要な課題を、「CSR重点テーマ」として認識し、包括的な取り組みを進めています。

### 責任あるエンジニアリング事業

先進の技術力とマネジメント力を活かして、社会的課題の解決に資する事業をリードします。また、国際的な社会規範を尊重し、事業プロセス全体を通じて社会的影響に配慮した責任ある事業活動を遂行します。



### 地域コミュニティとの共生

国内外の事業拠点・プロジェクト現場において、地域コミュニティの環境・文化・慣習等を尊重します。そして、事業活動および社会貢献活動を通じ、地域コミュニティの一員として経済的・社会的発展を支援します。



### 自律した人財の育成

価値規準(コアバリュー)に照らして自律した責任ある判断・行動が出来る人財を育てます。また、グローバル企業として、人権・労働慣行に関する国際的な社会規範を尊重し、多様性を受け入れたオープンな組織体制・風土を創ります。



### 【人権課題への取り組み】

2011年に国連が「ビジネスと人権に関する指導原則」を採択し、国際社会における人権重視の流れが強くなる中、当社がグローバルに事業を展開する上で、人権リスクへの対応は重要な課題になりつつあります。そのため、当社は2014年度より、経済人コー円卓会議日本委員会が主催する「ステークホルダー・エンゲージメント・プログラム(人権デューデリジェンスワークショップ)」※に参加し、企業36社およびNPO/NGO13団体とのマルチステークホルダーによる対話を通じて、人権課題の把握に取り組んでいます。



※同プログラムの詳細については「経済人コー円卓会議日本委員会」のホームページをご参照ください。

<http://www.crt-japan.jp>